

バングラデシュ



専務理事 土屋 進

1. 災害の国

今年の梅雨は、台風3号の関東地方への接近はあったが、集中豪雨も少なく、全体としては大きな被災もなく明け、暑い毎日が続いている。現在のところは、北海道有珠山と伊豆三宅島雄山の噴火、更には伊豆諸島中心に頻発している地震による災害が際立っている。災害列島・日本である。(従って、この機関誌が発刊されるまでの間に、新たな災害発生が十分に予想される。)

5月末から1週間程、バングラデシュ国の洪水対策のために、ガンジス川とその支川ブラマプトラ川を調査して来た。三方面をインド国にほぼ囲まれているバングラデシュ国の国土の多くは、国際河川ガンジス川が形成した低平な沖積平野から成り立っている。

5月末はまだ雨季の初めであったが、上空から見た首都ダッカ周辺の土地の多くは、既に浅く浸水していた。世界最大のデルタ地帯に位置し、可耕地の殆どが農地として利用されている国であるので、本格的な雨季になると、河川の増水と排水不良によって集落は浮かぶ孤島の様相を呈するとのことである。

雨季におけるガンジス川の氾濫とベンガル湾に発生する強力なサイクロンによる高潮被害、この国も災害と向き合っている。

2. 地球の温暖化

1971年に独立したこの国は北海道の約2倍の広さを持ち、1億2000万人以上の国民を擁し、なお約2.6%の人口増加率で増え続けている。初めての入国であり、見るもの聞くこと総て興味深い事柄であったが、特に印象的であったことを紹介したい。

- ・砂利の産出が地域的に限られているので、低地に沈積した粘土を焼いてレンガを作り、それをハンマーで砕いて建設用骨材に使用している。
- ・飲料水はその殆どを地下水に依存しているが、汚染されている場合が多いので、燃料を確保できる人は煮沸して使用している。加えて広い範囲に亘って地下水から砒素が検出されており、深刻な問題になりつつあるとの説明があった。

この国では、飲料水や建設用資材を得るために二酸化炭素を放出しているが、二酸化炭素に代表される温室効果ガスは地球の温暖化現象に大きく係っている。この現象による海面上昇は、低平地の多いこの国の治水や水資源の面にもろに影響を与えることになる。

エネルギーと水、更には食糧を加えたこれらの確保を、地球的規模で持続的に維持していくことの重要性を実感した。

3. 豊かな国日本

先日、宮本輝著「ひとたびはポプラに臥す」(講談社、全6巻)を読んだ。中国の西安からパキスタンのイスラマバードまでのシルクロード約6,700kmの紀行文である。オアシスに開けた都市を飛び石伝いに訪れながら、天山山脈、カラコルム山脈、タクラマカン砂漠等を車を利用して移動している。酷暑、乾燥、高地等の苛酷な自然条件の地で、厳しく自活している辺境の人達の様子が短時間の観察であるが、解りやすく紹介されている。

厳しい自然環境の中にいるシルクロードの人達も、一人当たりの国民所得が日本のおよそ1/100という厳しい経済環境の中にいるバングラデシュの人達も、余裕はないけれどそういった環境の中で生活している逞しさを感じた。

一方、温暖な気候に縊じて恵まれているが、豊かな経済力を背景に更に快適な生活を求める日本(よく批判に晒されているが)はその対極にありそうだ。

世界水ビジョン「川と水」委員会は、日本の木材輸入量が世界第一位で全体の1/4の量を占めていること、日本の輸入農産物を生産するのに必要な水の量は、3000万人以上の水道用水供給量に相当することを指摘している。更に開発途上国に住む48億人の1/3は清潔な水を口にできないこと、1/4はまともな住まいを持っていないことの新新聞報道もあった。

4. ガンジス川の流れを見て

ガンジス川を陸上から望めば、対岸は遥かに霞んで見えず、上空から望めば、支川、派川が組んず解れつ

流れていて、あれもガンジス川これもガンジス川といった状況である。このガンジス川の自由自在な流れは、高さ4～5mに及ぶ河岸をいたるところで削り取り、農地や家屋を奪っていく。その様子を上空から目の当たりにして、バングラデシュ国の治水対策として、この大河の洪水時の流れを和らげることの難しさを痛感した。

そして、騒音と蒸し暑さの著しい調査機の中で、食べ物を粗末にし、エネルギーや水を浪費してきた自分の生活を見直そうという思いが“一瞬”よぎった。

(2000年7月24日記)

参 考 (平成9年版理科年表から)

・流域面積 (万 km^2)	
アマゾン川	705 (世界第1位)
ガンジス・ブラマプトラ川	173 (世界第11位)
利根川	2 (日本第1位)
・川の長さ (km)	
ナイル川	6,650 (世界第1位)
ブラマプトラ川	2,900 (世界第34位)
ガンジス川	2,500 (世界第50位)
信濃川	367 (日本第1位)



写真 - 1 護岸用ブロックの骨材に使用する破碎レンガ



写真 - 2 ガンジス川本川左岸側の川岸欠壊状況